

## 令和6年第4回厚沢部町議会定例会提案理由書

(令和6年12月10日)

令和6年、第4回、厚沢部町議会定例会の開会にあたり、一言ごあいさつと、提案理由を申し上げます。

昨日、石破内閣の補正予算案が臨時国会に提出されました。

「日本経済・地方経済の成長」、「物価高の克服」、「国民の安心・安全確保」を柱として、政府・与党は年内の成立を目指しておりますが、経済対策の裏付けとなる補正予算を一刻も早く成立させ、実行に移していくことが肝要であります。

とりわけ物価高に対する喫緊の対応につきましては、当町としてもできる限り早期の執行に努めてまいりたいと考えております。また、その他の経済対策に伴う補正予算につきましても、その内容を見極めながら、適切に対応してまいります。

新聞報道等でご承知のとおり、先般、当町が国の「第5回脱炭素先行地域」に選定されました。2030年度までに「温室効果ガス排出実質ゼロ」の実現を目指すと同時に地域の魅力と暮らしの質を向上させる全国モデルとなる地域として、当町の提案が認められました。令和5年1月にゼロカーボンシティ宣言を行って以来、本事業に応募を続けてまいりましたが、ようやくその実を結び安堵したところではありますが、あくま

でもスタートラインに立ったということであり、更なる計画のブラッシュアップが求められますので、北海道ガス株式会社をはじめとする共同提案者や関係機関等と連携を図りながら確実に事業を進めてまいります。

11月25日から5日間の日程で「令和6年度まちづくり座談会」を町内6か所で開催しました。町民の皆様とまちづくりに対するご意見やご要望等について懇談させていただき貴重な場でありましたが、ご多忙の中、議員の皆さんにもご出席いただきましたことに対しまして深く感謝を申し上げます。

これまでも、公約に掲げた政策を中心にスピード感をもって取り組んでまいりましたが、今後も町民の皆さんから頂いたご意見やご要望も参考にしながら、まちづくりに取り組んでまいります。

町長就任以来、全力で町政運営に取り組んでまいりましたが、引き続き、町政の課題解決を図り、町民のご期待にそえるよう取り組んでまいる所存でありますので、議員各位の格別なるご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

次に、本定例会に提案いたします案件は、補正予算案 2 件、人事案 1 件の計 3 件であります。

議案第 1 号の令和 6 年度厚沢部町一般会計補正予算につきましては、7 千 4 7 3 万 8 千円を追加し、予算の総額を 5 3 億 3 千 2 7 万 6 千円とするものであります。

事務事業の確定と、今後の所要見込み額を勘案し、各項目の増減調整を図っており、主な内容は、

総務費では、財政調整基金積立金、ふるさと納税関連経費、二地域居住推進実証調査事業費のほか、脱炭素先行地域づくり関連事業費を計上しております。

民生費では、国保特別会計繰出金のほか、児童手当制度が改正されたことに伴う児童手当の増額、

農林水産業費では、スマート農業等機械導入支援事業費補助金、環境保全型農業直接支払交付金、鳥獣被害対策実施隊員の日額報酬の増額補正であります。

特に、今年度から新たに実施しましたスマート農業等機械導入支援事業につきましては、想定を上回る実績見込みとなり、5 2 件の農業者が本事業を申請しており、来年度以降の事業継続についても要望が寄せられているところであります。

その他、商工費では、うずら温泉の指定管理委託料の増額、  
消防費では、檜山広域行政組合消防費負担金の減額、  
教育費では、学校給食材料費高騰に伴う賄材料費の増額で  
あります。

議案第2号の令和6年度厚沢部町国民健康保険事業特別会計  
補正予算につきましては、28万9千円を追加し、予算の総額  
を5億3千773万2千円とするもので、人件費及び葬祭費の  
増額であります。

諮問第1号の人権擁護委員の推薦につき、意見を求めること  
につきましては、所定の任期が満了することから、その推薦に  
ついて、議会の意見を求めるものであります。

以上が、本定例会に提案いたしました議案の概要であります。

詳細につきましては、副町長、関係課長に説明にあたらせ  
ますので、ご審議の上、ご賛同賜りますよう、宜しくお願い申  
し上げます。